

北九州市環境モデル都市次期行動計画（案）に対する
市民意見募集（パブリックコメント）結果

1 意見募集期間

平成26年2月6日（木）～平成26年3月5日（水）

2 意見提出状況

(1) 提出者 9人

(2) 提出意見数 11件

(3) 提出された意見の内訳

項 目	件 数
計画全般に関するもの	3
「1 環境が先進の街を創る」に関するもの	4
「2 環境が経済を拓く」に関するもの	0
「3 環境が人を育む」に関するもの	1
「4 環境が豊かな生活を支える」に関するもの	1
「5 環境がアジアの絆を深める」に関するもの	1
その他	1
合 計	11

3 計画への反映状況

項 目	件 数
①計画に掲載済（一部掲載を含む）	1
②計画の追加・修正あり	4
③計画の追加・修正なし	5
④その他	1
合 計	11

**北九州市環境モデル都市次期行動計画（案）に対する意見の概要
及びこれに対する本市の考え方**

【意見の反映結果】

- ①掲載済み（一部掲載を含む） ②追加・修正あり
③追加・修正なし（今後の参考等とする） ④その他

1. 計画全般に関するもの（3件）

No	意見の概要	本市の考え方	反映結果
1	<p>国の削減目標 3.8%減は暫定的なものであり、エネルギー基本計画の内容によってはまた変わってくる。環境に苦しんだ北九州市がハイレベルなものを目指すのはいいとは思いますが、暫定値とするか、場合によっては変更すると明記した方がよい。</p>	<p>ご指摘のとおり、国の 2020 年までの削減目標 3.8%減は暫定的なものであり、確定的な目標は、今後のエネルギー政策の検討の進展を踏まえて見直し、設定するとしています。</p> <p>なお、各環境モデル都市における削減目標の設定にあたっては、国から震災前の電力による温室効果ガスの排出係数を用いるよう指示を受けています。</p> <p>本市においては、現行の行動計画を推進してきた結果、順調に施策を実施してきていることから、次期計画においても削減目標の数値は変更していません。</p> <p>今後、国が確定的な計画を策定し目標が大きく変更された場合は、その時点で、本市の計画の見直しについて検討したいと考えています。</p> <p>【関連頁】 P7 削減目標</p>	③
2	<p>地球温暖化の原因は解明されているのか。定期的に温暖化と寒冷化を繰り返しているという説をきいたことがあるが。税金が無駄にならないか、心配。</p>	<p>この分野における世界の専門家から構成される IPCC※にて、「人為起源の温室効果ガス濃度の増加による可能性が高い」と報告されており、わが国もこれに基づいて地球温暖化対策法等をはじめとした様々な対策を講じているところです。</p> <p>本市としても、IPCC報告及び日本国政府の方針を踏まえて、低炭素社会づくりを進めます。</p> <p>※IPCC（気候変動に関する政府間パネル）</p> <p>人為起源による気候変化、影響、適応及び緩和の方策に関し、科学的、技術的、社会経済学的な見地から包括的な評価を行うことを目的として、1988年に世界気象機関（WMO）と国連環境計画（UNEP）により設立された組織。</p>	③

No	意見の概要	本市の考え方	反映結果
3	計画の内容は盛りだくさんで素晴らしいと思うが、ページが多すぎて読めない。北九州市の削減目標の達成に向けて、私たちが具体的に何をすればいいのか、もう少しコンパクトにわかるような形にしてほしい。	市民の皆様にご理解いただくために、「市民向けパンフレット」を作成します。パンフレットには、市民の方がCO ₂ 削減のために取り組んでいただけることなどを具体的にわかりやすくご紹介できるような工夫をしたいと思います。	③

2. 「1 環境が先進の街を創る」に関するもの（4件）

No	意見の概要	本市の考え方	反映結果
4	「1-c-15 スタジアム整備事業」が挙げられているが他のC欄の事業と並べると少し異質に思える。 「エコスタジアム」の内容が解説されていると印象が違うと思う。	ご意見を踏まえ、「“エコ”スタジアム」の内容についての具体的な記述を加えました。 【関連事業】 P31 1-c-15 スタジアム整備事業	②
5	響灘ビオトープの取組みは、低炭素社会への貢献もあり、管理等のノウハウはパッケージとして環境ビジネスのひとつのモデルにもなり得る。環境未来都市の先進的事例として次期計画の中でもアピールすべき。	ご意見を踏まえ、「1-d-2 まちの森プロジェクト」を「1-d-2 まちの森プロジェクト及び響灘鳥がさえずる緑の回廊創成事業」に変更した上で、響灘ビオトープの取組みに関する記述を追加しました。 【関連事業】 P34 1-d-2 まちの森プロジェクト及び響灘鳥がさえずる緑の回廊創成事業	②
6	海外では、木造の高層ビルが建築されており、端材もペレット化して有効活用している。森林資源の多い本市でも参考にしてみたい。	行動計画を推進するなかで、森林資源活用の参考とさせていただきます。	③
7	市民や小学生を対象として、身近な生き物に興味を持ってもらうために「参加型の生き物調査」を事業として行ってはどうか。 (以前にも行われていたが) 特定の種類を対象としても良いし、環境省の「いきものみつけ」のように、携帯で投稿できるものでも良いと思う。 指定した数種類の生き物の画像をコンプリートすると環境モデル都市グッズがもらえるなども楽しいかもしれない。	本市では、市域内における生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な計画として、平成22年11月に「北九州市生物多様性戦略（計画期間：平成22年度～平成26年度）」を策定しています。 この計画が平成26年度に終了することから、平成26年度に平成27年度以降の新たな計画の策定を行う予定です。いただいたご意見については、新たな計画策定に際しての参考とさせていただきたいと思えます。	③

3. 「3 環境が人を育む」に関するもの（1件）

No	意見の概要	本市の考え方	反映結果
8	<p>「3-c-5 水先案内人育成塾」について取組内容、目的が伝わりにくい（漠然としている）印象を受けた。</p> <p>ホームページでは、「この貴重な川や周辺の自然の大切さを、子どもたちや多くの方々に伝える「川の達人」を育てる水先案内人育成塾を開校しています。」と説明されている。このような目的もあることが文面では伝わらないように感じる。</p>	<p>ご意見を踏まえ、「水先案内人育成塾」の取組内容や目的について、具体的な記述を加えました。</p> <p>【関連事業】 P66 3-c-5 水先案内人育成塾</p>	②

4. 「4 環境が豊かな生活を支える」に関するもの（1件）

No	意見の概要	本市の考え方	反映結果
9	<p>行動計画には色々と良いことが書かれており、うまくインパクトのあるPRができるとうい。特に、環境の技術の面をPRすると良いのではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、環境技術に関する展示会を通じた情報発信を追記しました。本市の持つ環境技術やノウハウは非常に高いもので、マスメディアの活用も含め、PRを工夫していきたいと思います。</p> <p>【関連事業】 P83 4-f-3 環境広報の推進</p>	②

5. 「5 環境がアジアの絆を深める」に関するもの（1件）

No	意見の概要	本市の考え方	反映結果
10	<p>北九州市が行っている海外水ビジネスの報道を見た。環境を切り口としたビジネスがCO₂削減にもつながるものと考えていることはできるのだろうか。</p>	<p>環境を切り口としたビジネス展開は、海外都市の低炭素化にも貢献します。本市の行動計画の中にも、アジアを中心とした海外の低炭素化事業を掲載しています。</p> <p>【関連事業】 P91 4-e-1 アジア低炭素化センター推進事業</p>	①

6. その他（1件）

No	意見の概要	本市の考え方	反映結果
11	本市が真の環境モデル都市として、持続的発展を続けていくためにも、JRA小倉競馬場を東海地区への移設を要望する。そして移設後の跡地を有効利用すれば、都市ブランドの向上にもつながるのではないか。	ご意見として承ります。	④